

災害等非常時における研修の実施について

1. 東海地震に関連する調査情報の発令による第二非常配備（警戒態勢）又は第三非常配備が愛知県より発令された場合は、研修を中止する。
2. 上記1の場合を除いては、特に研修を実施することが困難な状況（例：講師が研修会場に到着不能な場合）が生じない限り、研修を実施する。
3. 研修を中止する場合は、原則、前日の17時30分までに研修センターホームページ（以下「ホームページ」という）で周知する。
ただし、前日の17時30分までに研修の中止を確定できない場合（例：17時30分以降の気象情報等を得てから判断する必要がある場合）は、その旨をホームページで周知するとともに、当日午前7時頃に開催の有無をホームページで周知する。
4. 研修生は、以上を踏まえたうえで、次のとおり行動すること。
 - (1) 研修中止に関する情報は、ホームページ又は所属の研修担当に確認すること。
 - (2) 上記2のとおり、単に台風や大雨・雪という理由だけで研修を中止することはないので、ホームページ又は所属の研修担当に中止する旨の連絡がなければ、予定どおり実施されるものと理解し、参加すること。
 - (3) ただし、非常配備により招集された場合や緊急性の高い業務が発生した場合、もしくは交通途絶等により研修に参加できない事情が生じた場合は、研修センターに連絡のうえ、研修を欠席しても構わない。なお、その際のサービスの取り扱いは所属で判断すること。